

平成 29 年度第 0 回(28 年度第 5 回)IODP 部会執行部会 議事録

日時:2017 年 4 月 21 日(金)13:00~17:30

場所:海洋研究開発機構 東京事務所 共用会議室 B

出席予定者:

執行部:西弘嗣(部会長・東北大学) 村山雅史(部会長補佐・高知大学) 池原研(産業技術総合研究所)
黒柳あずみ(東北大学) 齋藤めぐみ(国立科学博物館) 中西正男(千葉大学) 道林克禎(静岡大学)
針金由美子(産業技術総合研究所) 森下知晃(金沢大学) 山田泰広(JAMSTEC)

リエゾン:小村健太郎(陸上掘削部会長・防災科学技術研究所)

オブザーバー:木村 学(J-DESC 会長・東京大学) 沖野郷子(科学推進専門部会長・東京大学 AORI)
渡辺達也(文部科学省) 倉本真一(CDEX/JAMSTEC) 稲垣史生(ECORD FB/JAMSTEC)
川村善久(JAMSTEC) 阿部なつ江(JAMSTEC)

事務局:花田晶公 肥田慎司 高橋可江 双木真理子(JAMSTEC)

欠席予定者:大河内直彦(JAMSTEC) 高橋嘉夫(東京大学) 横山祐典(東京大学 AORI)

議事次第

1. 前回会議(170220)議事録(案)確認..... 資料 1
2. IODP の動向
 - ・掘削航海動向報告 資料 2-1, 2-2
 - ・国際動向報告(ECORD FB、CIB、JR operation review panel) 資料 3-1~3-3
 - ・国際委員ローテーション(SEP 委員交代について) 資料 4-1, 4-2
3. J-DESC 関連
 - ・IODP・ICDP 成果報告会報告 資料 5
 - ・J-DESC 総会関連
 - 総会議事次第(案) 資料 6
 - 総会報告資料の策定 資料 7-1~7-3
 - 来年度予算 資料 8-1, 8-2
 - 来年度予算執行審議(英語版パンフレット印刷費、Austrarasian WS 派遣旅費)
 - 次期 IODP 部会執行体制案の検討 資料 9-1, 9-2
 - 総会議長の推薦について 資料 10
 - ・タウンホールミーティング 資料 11
 - ・その他 JpGU 関連(展示ブース、関連セッション等) 資料 12
4. 陸上掘削部会の動向
5. その他
 - ・大型研究計画提案の状況報告
 - ・オマーン DP の状況報告
 - ・その他
 - ・次回執行部会開催日程確認

配布資料

資料 1	前回執行部会(170220)議事録(案)	資料 7-1	平成 28 年度 J-DESC 活動報告(案)
資料 2-1	掘削航海スケジュール	資料 7-2	平成 28 年度 IODP 部会活動報告(案)
資料 2-2	乗船決定・応募者リスト	資料 7-3	平成 29 年度 IODP 部会活動方針(案)
資料 3-1	ECORD FB 報告書	資料 8-1	平成 28 年度 J-DESC 予算執行状況
資料 3-2	CIB 報告書	資料 8-2	平成 29 年度 J-DESC 予算(案)
資料 3-3	JR operation review panel 報告書※要回収	資料 9-1	平成 29 年度 J-DESC 執行体制(案)
資料 4-1	国際委員ローテーション	資料 9-2	平成 28 年度専門部会委員名簿
資料 4-2	SEP 委員候補者応募書類※要回収	資料 10	総会出席者リスト
資料 5-1	IODP・ICDP 成果報告会報告書	資料 11	タウンホールミーティング概要(案)
資料 5-2	成果紹介パンフレット(日・英)	資料 12	JpGU 出展概要(案)
資料 6	総会議事次第(案)		

議事録

1. 前回会議(170220)議事録(案)確認.....資料 1

会議終了までに特段の修正の指摘はなく、原案どおり承認された。

2. IODP の動向

・掘削航海動向報告.....資料 2-1, 2-2

事務局及び西部会長から資料に基づいて報告があった。また、倉本氏より「ちきゅう」の予定に関し補足があった。

・国際動向報告(ECORD FB、CIB、JR operation review panel).....資料 3-1~3-3

ECORD FB について西部会長及び稲垣氏から資料に基づき報告があった。

CIB について木村会長及び西部会長から資料に基づき報告があった。

JR operation review panel について阿部氏から報告があった。

・国際委員ローテーション(SEP 委員交代について).....資料 4-1, 4-2

事務局から SEP 委員応募者について説明があり、委員において議論が行われた後、2名の候補者が選定された。

・SSO に意向を確認したが、多めの候補者ではなく、定数と同じ数の次期委員を推薦して欲しいとのこと。

合意事項(170421-01):次期 SEP 委員(候補)として応募者から 2名が選定された。

実行項目(170421-01):本執行部会で SEP 委員(候補)として選定された 2名を事務局から SSO へ連絡する。また、応募者に選定の結果を事務局から通知する。

3. J-DESC 関連

・IODP・ICDP 成果報告会報告.....資料 5

事務局から資料に基づき報告があった。

・J-DESC 総会関連

総会議事次第(案).....資料 6

総会報告資料の策定.....資料 7-1~7-3

西部会長及び事務局より原案について説明が行われ、資料を参照しながら概要の検討を行った。

合意事項(170421-02):陸上掘削部会と協力し、平成 29 年度 J-DESC 活動方針案を作成する。

合意事項(170421-03):平成 29 年度 IODP 部会活動方針案について、西部会長から次期部会長候補者に送付し総会前に確認してもらう。

実行項目(170421-02):総会資料について、本執行部会での議論を反映した修正案を事務局において作成し、メールで本執行部及び陸上掘削部会執行部に送付する。両部会執行部においてメールによる協議を行い、総会に提出する最終案を確定する。

来年度予算.....資料 8-1, 8-2

西部会長及び事務局より原案について説明が行われた。

合意事項(170421-04):IODP 部会経費の IODP 戦略検討費、陸上部会経費の海外研究動向調査・若手国際交流費及び ICDP プロポーザル作成支援費を、共通経費に組み入れ、柔軟に活用できるようにする。

合意事項(170421-05):IODP 部会経費、陸上部会経費それぞれの執行部会活動経費を執行実績に合わせて見直し、余剰分を共通経費に「旅費・交通費」として組み入れる。

実行項目(170421-03):事務局において本執行部会での合意事項を元に予算案を再作成し、両部会の部会長及び会計担当にメールにて送付する。両部会執行部でのメール協議及び調整を行い、総会に提出する最終案を確定する。

来年度予算執行審議(英語版パンフレット印刷費、Austrasian WS 派遣旅費)

西部会長及び事務局より原案について説明が行われた。

合意事項(170421-06):英語版パンフレット印刷費(約 5 万円)及び Austrasian WS 派遣旅費(上限 50 万円)の来年度予算からの執行について、IODP 部会執行部としては承認する。

実行項目(170421-04):小村陸上掘削部会長より、陸上掘削部会執行部に本件の承認について照会し、西部会長及び事務局に結果を連絡する。

次期 IODP 部会執行体制案の検討..... 資料 9-1, 9-2
西部会長より資料に基づき原案について説明が行われた。

実行項目 (170421-05) : 事務局において、今期執行部から次期執行部への申し送り事項リストを作成する。

総会議長の推薦について..... 資料 10
事務局より説明が行われ、立候補者がいなかった場合の議長候補者について検討が行われた。

実行項目 (170421-06) : 事務局より、総会議長候補者に連絡する。

・タウンホールミーティング..... 資料 11
事務局より資料に基づき原案について説明が行われた後、議論が行われた。

合意事項 (170421-07) : タウンホールミーティングの内容については部会長と事務局が相談して決める。

合意事項 (170421-08) : 会費の設定については、経費の見積もりを踏まえて事務局に決定を一任する。

実行項目 (170421-07) : 海外からのスピーカーには Invitation Letter を送付する。

・その他 JpGU 関連(展示ブース、関連セッション等) 資料 12
事務局より資料に基づき説明が行われた後、議論が行われた。

合意事項 (170421-09) : 出展者ショートセミナーの内容・講演者等について、道林委員と山田委員及び事務局が相談して決める。

4. 陸上掘削部会の動向

小村陸上部会長より報告があった。

- ・前回執行部会で総会資料について検討した。これからメールで最終調整する。
- ・来年度予算については、本執行部会の議論を受け、再度検討し直すことになる。陸上部会執行部にてメールで協議する。
- ・日本主導の ICDP プロジェクトである DSeis 計画の掘削が開始した。

5. その他

・大型研究計画提案の状況報告
西部会長より報告があった。

・オマーン DP の状況報告

道林委員及び森下委員より報告があった。

- ・オマーン DP の「ちきゅう」船上コア記載・分析(7/15~8/15、8/15~9/15)の乗船研究者の募集が開始した。
- ・昨年10月から今年の3月まで掘削が行われた。400mのコアを3本、300mが1本。最初の800m分を3/30に「ちきゅう」搭載済み。残り700m分は6月末に清水港で積み込み予定。
- ・Peter Kelemen 氏からの Letter に記載のあった request for funding from ICDP については問い合わせ予定。
- ・8/15の乗船研究者入れ替えのタイミングでオマーン大使館と記念行事を行う案がある。来週火曜に表敬訪問予定。
- ・Peter 氏が「ちきゅう」乗船に来日する際、JAMSTEC の視察を考えている。
- ・アウトリーチをきちっとやってもらいたい。何やっているのか世間に知られていない。
- ・「ちきゅう」船上分析が行われているところを見せるシップツアーをお願いしたい。
- ・CDEX としては、行事にせよシップツアーにせよ、とにかく早めに相談して欲しい。

・その他
特になし。

・次回執行部会開催日程確認

次回執行部会の開催日程は、次期執行部の決定後、改めて調整する。